

## 平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成29年5月8日

代表者 加藤 則子

研究課題名	朝霞地区4市を基盤とした前向き子育て文化醸成の企画と評価に関する研究
研究期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
共同研究者	齋藤 麗子
1. 今年度の研究概要	
<p>近年の核家族化とコミュニティの崩壊の中で、育児知識の伝承が不十分なまま、不安な育児を営む親が増えてきている。地域が子育て支援に取り組む必要性が強調されて久しい。一昨年度、本学が文部科学省の知(地)の拠点整備事業に採択され、地域との連携活動が推進されて行く流れの中で、朝霞地区4市(新座・和光・志木・朝霞)の子育て支援環境を整備してゆくことが強くのぞまれる。本研究では、朝霞地区4市の育児中の親や祖父母等に適切な子どもとのかかわり方を伝え、育児を楽しく前向きに行う子育て文化を醸成することにつとめ、その評価を行い、地域内の関連機関の連携強化と次世代育成に役立てようとするものである。</p> <p>平成27年度には、朝霞地区4市の自治体の保健部門・教育部門と情報を共有することを目的として、和光市の保健部門に切れ目ない支援の枠組みについてヒアリングを行った。4市近隣の自治体子育て支援課に聞き取りを行い、高齢者を育児支援資源として活用する方策につきヒアリングを行い、民生委員との連携に関する示唆を得た。4市に近隣する清瀬市の子育て支援サークルの代表と支援ニーズに関する意見交換を行った。</p> <p>平成28年度にはこれを受けて、支援ツールの必要量の算定のためのアンケート調査票を完成させた。前向き子育てツールを配るルートの手がかりとして、十文字女子大附属幼稚園が本学幼児教育研究所と共催で行っている地域育児講座「はらっば」を活用した。地域育児講座「はらっば」の参加者のなかで、意欲的な方にアプローチし、地域4市から介入支援の参加者を募っていただき、連続3回からなるレベル2特定セミナートリプルPを実施し、参加者の意識と態度の変容が確認された。</p>	
2. 研究の成果	
<p>支援ツールの必要量の算定のためのアンケート調査が計画されていたが、対象自治体を絞りつつある状況である。SDQを主体としたアンケート調査の調査票を完成させた。</p> <p>前向き子育てツールを配るルートの手がかりとして、十文字女子大附属幼稚園が本学幼児教育研究所と共催で行っている地域育児講座「はらっば」の参加者との自由な質疑応答の中で、地域の集会場等での取り組みが有効であるという目安を付けた。</p> <p>地域育児講座「はらっば」の参加者のなかで、意欲的な方にアプローチし、地域4市から介入支援の参加者を募っていただいた。研究代表者が前向き子育てプログラム「トリプルP」の認定資格者であることから、連続3回からなるレベル2特定セミナートリプルPを提供した。前向き子育ての力、自信と能力のある子ども、くじけない子どもの各テーマに関するグループワークを行った。地域の行事や子供の病気などですべて参加できない人もいたが、総勢9名の参加となった。参加者のグループダイナミクスが働き、本音が語り合え気持ちがほどける様子が見て取れた。参加者の対児感情が良好に変わってゆくのが分かった。</p> <p>行政や企業と連携し広く参加者を募ってゆくことが今後の課題である。</p>	

### 3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

第3回前向き子育て研究会(2017年6月10,11日 高松)にて発表予定

## 平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	プロジェクト研究費
研究課題名	朝霞地区4市を基盤とした前向き子育て文化醸成の企画と評価に関する研究
研究代表者	加藤則子
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	齋藤麗子

## 1.研究成果取組状況

## (1)国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済		
発表予定	第4回前向き子育て研究会 2018年6月 和歌山 発表予定	

## (2)雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済		
投稿中 投稿予定		

## (3)図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	
出版予定	

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名
平成 27,28,29 年度	科学研究費補助金 基盤研究(c) 地域における育児支援資源の効果的な配分と提供のための体制整備に関する研究 (代表 加藤則子)